

連合岩手2024平和行動

釜石・遠野地協 集会・行進で平和を訴え

連合岩手は2024年7月22日〜25日に平和行動を実施、内陸・沿岸北・沿岸南の3コースで平和集会・行進を実施しました。釜石・遠野地協でも、7月23日に釜石、24日に遠野で平和集会を実施しました。集会には「高校平和大使」から平和への願いと署名の呼びかけがありました。

釜石では、釜石教育会館で18時00分から「釜石地区平和集会」を開催、約90名が参加しました。

小島議長が挨拶、すべての生活の前提となる平和を守る運動に結集し、行動しようと呼びかけました。次に、集会にかけつけていただいた、大久保隆規、三浦一泰市議を

紹介し、ご挨拶をいただいた後、連帯のアピールとして高校平和大使の佐藤凛太郎さんから平和を求めるメッセージをいただきました。

引き続き集会アピール採択を行い、集会后は市内、大町通りをデモ行進し平和を訴えました。

遠野では、遠野教育児童会館で18時00分から「平和集会」を開催、約60名が参加しました。集会では、主催者を代表して平和運動実行委員会の湊恵一氏があいさつ、

ロシアのクライナ侵攻と原爆の使用をほのめかす姿勢を強く批判し、ザマ地区での惨状を憂い、弛まない行動で平和を守ろうと訴えました。

続いて、伊藤宣夫さんから当時、広島で被爆したことの体験や平和を訴え続けることの大切さ、被爆体験をまとめた紙芝居の活用が訴えがありました。

引き続き集会アピール採択を行い、集会后は教育児童会館から駅前に向かってデモ行進を行いました。平和の訴えを続けました。



上から「平和高校大使からのアピール」「釜石でのデモ行進」「伊藤宜夫さんから広島被爆体験のお話」「遠野でのデモ行進」



思いのつまった横断幕

教員、保育士に対して抜本的な働き方改革が求められています。処遇改善、超過勤務時間の削減、人を育てる上での定数確保と定数改善等、多くの課題が未解決の状態です。釜石・遠野地域協議会では、岩教組、保育労と共に、課題解決に向けた思いを共有する意味を込めて、横断幕を作成しました。遠野教育児童会館2階に掲示されています。要求実現のために共

横断幕完成！
教員・保育士の働き方の改善を

今こそ、平和な社会実現の行動を!



各種、運動の継続を!



平和への願いを込めて、思いをひとつに / 釜石集会

平和の折り鶴

女性青年委員会の役員及び遠野地区の地協幹事の皆さんのおかげで、折り鶴、50羽が完成し、県の平和集会で活用されました。

7月31日に「平和の取り組みに対する要請書」を釜石市に提出しました。釜石市側からは、中村達也総務企画部長、今野尚総務企画部総務課長、他3名が対応。釜石地区平和実行委員会から、今野徹平和環境釜石

平和の要請書

釜石市に提出

8月31日



平和の取り組みを交流しました。

地方労センター議長と菊池事務局長が要請行動をいたしました。釜石市は艦砲射撃の街であり、黙とうやサイレン吹鳴をこれまでも取り組んでいきます。平和の継続を強く訴えました。

2024年7月31日

釜石市長 小野 共 様

2024平和運動釜石地区平和実行委員会
実行委員長 小島 安友

連合岩手釜石・遠野地域協議会
議長 小島 安友

平和環境釜石地方労センター
議長 今野 徹

釜石地区友愛会
会長 村上 稜

平和の取り組みに対する要請書

日頃より、市民生活の向上、市勢発展のためご尽力され、広く市民生活が守られるよう、市長をはじめとした職員の皆さまのご尽力に、心から敬意を表します。

また、日頃から勤労者の福祉向上、平和事業についても、ご配慮いただき感謝申し上げます。

さて、私たちは、世界の恒久平和と日本国憲法に沿った平和な社会の実現、核兵器の廃絶等を目指し、毎年各種運動を展開しておりますが、今年度も平和行進・平和集会などを実施いたしました。

つきましては、これまでご配慮いただいているところですが、以下の事項について引き続き実施していただくよう要請いたしますので、貴市の特段のご高配をお願い申し上げます。

記

1. 釜石艦砲射撃の日(7月14日、8月9日)に、黙祷・サイレン吹鳴・鐘付き等を実施すること。
2. ヒロシマ(8月6日午前8時15分)・ナガサキ(8月9日午前11時02分)への原爆投下時刻、終戦の日(8月15日)に、黙祷・サイレン吹鳴・鐘付き等を実施すること。
3. 上記事項の市民への広報、参加呼びかけとともに、恒久平和・核兵器廃絶等に向けた啓発事業に取り組むこと。

実行委員会事務局:担当 菊池 利行
連合岩手釜石・遠野地域協議会
Tel.0193-55-5559



中村総務企画部長と今野平和環境釜石地方労センター議長